



検討会における論点について

2024年10月11日

環境省大臣官房環境経済課環境金融推進室

■ 本手引きの構成について

- 本手引きは、①背景、②算定方法という構成としている。特に、読み手の環境インパクト算定に関する理解促進や実務的な利便性の向上のため、①背景については以下5つの要素を盛り込んでいるところ、十分な要素・内容となっているか。付け加えた方が良い要素はあるか。
- a) 手引きの目的、b) 投資家がスタートアップの将来的な環境インパクトを算定・評価することの意義、c) GHGインパクト算定の考え方、d) スタートアップのステージに応じたGHGインパクト算定の考え方、e) ソリューションのグリーン性の判断について
- 本手引きが参照するProject FRAMEの「Pre-investment Considerations: Diving Deeper into Assessing Future Greenhouse Gas Impact」について、参照する範囲は算定方法の部分のみ（Section3）までとしてはどうか。

■ 本手引きを使用する際の留意点について

- スタートアップのステージ、技術特性や技術成熟度等により、環境インパクト算定・評価において求められる粒度、使用可能なデータは異なると考えられる。ステージ毎の環境インパクト算定・評価方法について、どのような留意点があるか。
- その他、算定のプロセスにおける各項目（内部向け補足：FRAMEの各セクションのこと）において、特に留意すべきものはあるか。

■ 本手引きの投資後の活用方法について

- 本手引きは投資審査時をスコープとしているが、投資後の投資先支援の段階について記載すべき点はあるか。

■ 本手引きの普及方法について

- 本手引きの普及に当たり、効果的なチャンネルや手法等としてどんなものが考えられるか。

■ その他